

「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果・検証について  
 (「平成29年度実績及び平成30年度事業概要」)

1 はじめに ～国と市の地方創生について～

地方創生は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指しており、国は、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

また、本市でも平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ケ谷市人口ビジョン」や、人口ビジョンを踏まえ、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

このように、地方創生は、平成26・27年度の国及び地方における総合戦略の策定を経て、平成28年度から本格的な事業展開に入っており、今年度は「総合戦略」の4年目にあたります。

国では、地方公共団体に対し、財政支援をはじめとした支援を行い、現在の取組を更に進化させるとともに、地方創生を加速化するための取組を行っています。本市においても、総合戦略に位置付けた事業のうち、新規で実施する事業や拡充していく事業について、今年度当初予算に計上し、積極的な事業展開を図っていると同時に、国が交付する「地方創生推進交付金」を活用し、市の地方創生を推進しています。



「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」より

## 2 総合戦略の推進について

市の総合戦略では、人口ビジョンで掲げた将来人口の達成に向け、3つの方向性（自然増、社会増、定住）に沿って、4つの基本目標を設定しており、この基本目標に対し、68の具体的な施策、149の具体的な事業を掲げています。

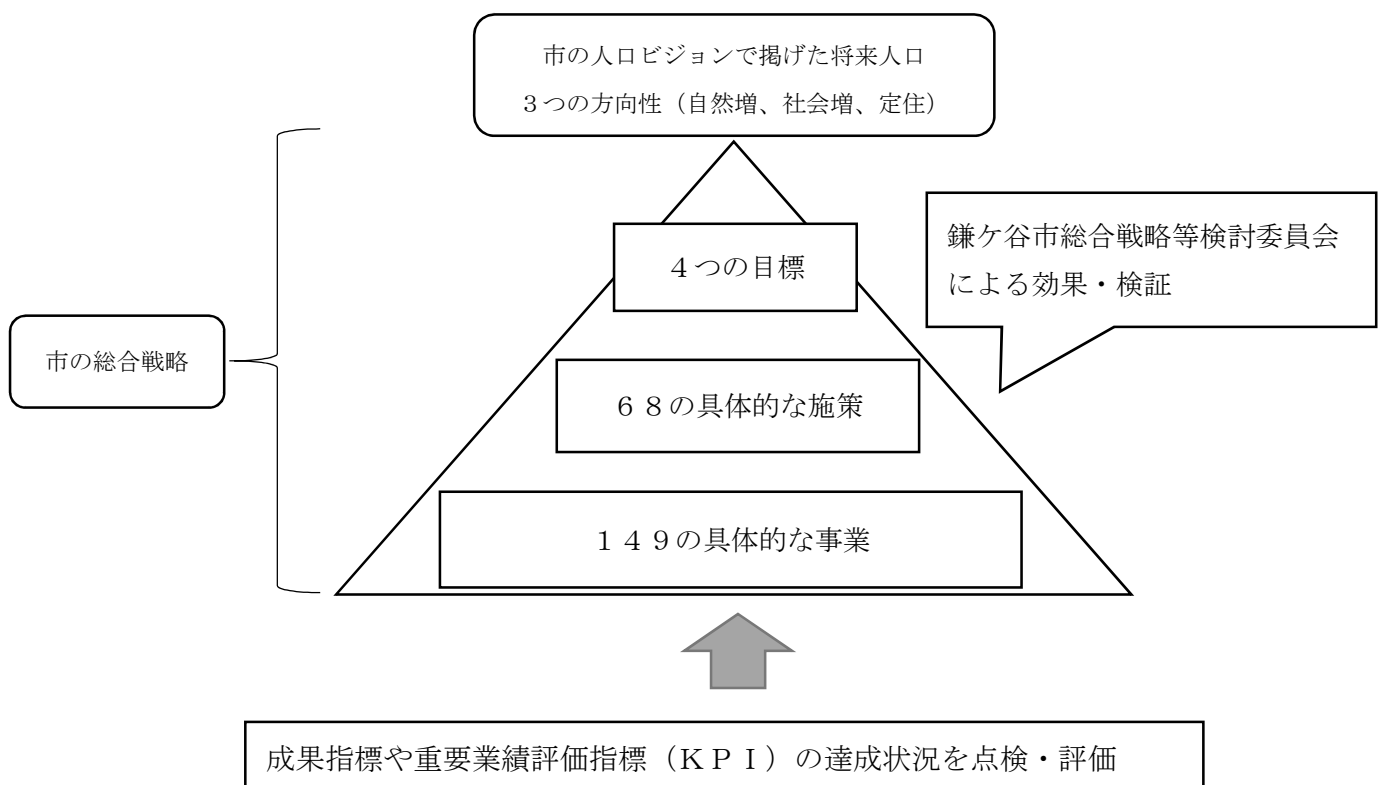
市では、4つの基本目標を柱として、各施策の基本的方向を踏まえ、施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）の目標に近づくよう、国の交付金（昨年度は「地方創生加速化交付金」）を活用しながら、市民との協働により事業を推進しています。

## 3 施策の効果・検証について

総合戦略に掲げる各施策を着実に実施していくとともに、総合戦略に位置付けた施策の効果を検証するため、市では、数値目標による進捗管理を行うことを総合戦略では定めています（総合戦略55頁参照）。

具体的には、本市で既に導入・実施している行政評価制度を活用し、各基本目標及び施策に設定した成果指標や重要業績評価指標（KPI）を踏まえ、点検・評価を行います。

また、効果・検証にあたっては、その妥当性や客観性を担保するため、「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」の各委員から意見を聴取し、施策の効果を検証します。



#### 4 平成 29 年度の取組結果等に係る評価について

上記「3」を踏まえ、市では、平成 29 年度の取組み結果及び今後の課題等について、総合戦略に掲げる 4 つの基本目標及びそれぞれの具体的な施策、事業ごとに評価を行いました（資料 2 参照）。

「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」では、これらの事業実績について、効果・検証を行っていきます。

##### (1) 成果指標、重要業績評価指標の進捗状況

###### ①基本目標の成果指標に係る進捗状況

	成果指標名	平成 29 年度実績値 (平成 28 年度実績値)	平成 31 年度目標値
基本目標 1	社会増加数	478 人 (86 人)	1,000 人
基本目標 2	合計特殊出生率	1.28 (1.28)	1.6
基本目標 3	雇用・就労人数	124 人 (127 人) 累計 414 人	1,275 人 (5 年間の雇用・就 労人数)
基本目標 4	自治会加入世帯数	28,712 世帯 (28,812 世帯)	29,800 世帯
	自主防災活動	57 回 (64 回)	120 回

※合計特殊出生率については、29 年度の数値が県より発表されていないため、「—」とする。

###### ②具体的事業の重要業績評価指標（K P I）に係る進捗状況（前年度比較）

	重要業績評価指標の数	上昇	維持	低下
基本目標 1	13	9	1	3(1)
基本目標 2	32	14	9	9(4)
基本目標 3	20	12	5	3(0)
基本目標 4	32	13	12	7(1)
合計	97	48	27	22(6)

※「低下」の欄の括弧内数値は、前年度と比べ数値が低下したものの、31 年度の目標値を既に達成している指標の数。

## 5 今後の市の地方創生について

前述「4」のとおり、総合戦略の各施策の実績について、鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会で効果・検証を行うとともに、今年度実施している地方創生の取組みも踏まえ、平成31年度の取組みについて、「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」の各委員から意見を聴取していきます。

### ○平成30年度実施している市の地方創生の取組み

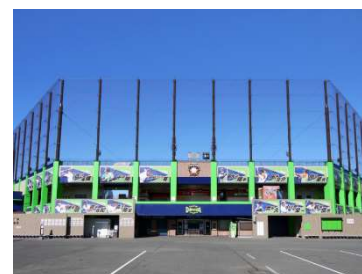
平成30年度は、総合戦略の4年目として、これまで3年間取り取組んできた総合戦略に掲げる事業について、より一層力を入れていくとともに、総合戦略に掲げた4つの基本目標の指標達成に向け、事業の推進を図っています（詳細は、資料2の「平成30年度の実施概要」を参照）。

また、総合戦略に位置付けた事業のうち、先駆性を有し、特徴ある取組みとして、国の交付金である「地方創生推進交付金」を活用することで、積極的に市の地方創生に取り組んでいます。

### 今年度取り組んでいる総合戦略の事業（一例）

#### 成果指標1 人々が交流・定着する、魅力あふれるまちづくり

- (1) 市ホームページリニューアル事業
- (2) 観光ビジョン推進事業
- (3) 北海道日本ハムファイターズとの連携強化事業
- (4) 市民参加型スポーツイベント事業
- (5) イルミネーション整備事業
- (6) 桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業
- (7) 婚活イベントの実施



#### 成果指標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

- (1) **【新規】** かまがや安心医療ナビシステムの構築
- (2) 子ども医療費助成拡大事業
- (3) 民間保育所整備助成事業
- (4) 特別支援教育推進事業
- (5) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）
- (6) 病児保育整備事業
- (7) 子育て支援PR事業（子育て応援イベント等の開催）
- (8) ライフデザイン手帳作成・配布事業
- (9) 結婚記念証、誕生記念証交付事業



### 成果指標 3 働きたいという希望をかなえるまちづくり

- (1) シルバー人材センター活用・就労促進事業
- (2) 空き店舗活用事業
- (3) コミュニティ・ベンチャー事業補助金活用促進事業
- (4) “かまたん”を活用した農産物ブランドPR事業
- (5) 創業事業者支援事業
- (6) 企業誘致基本計画推進事業
- (7) 鎌ヶ谷農産物ブランド認定農家拡充事業
- (8) 女性の就職促進支援事業



### 成果指標 4

あらゆる世代の誰もが安心して暮らすことのできる、支え合いつながり合う地域づくり

- (1) **【新規】** 避難行動要支援者避難支援制度の実施
- (2) 新京成線連続立体交差事業
- (3) コミュニティバス運行助成事業
- (4) 住宅用再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置促進事業
- (5) 空家等対策事業
- (6) 老人憩の家整備及び維持管理補助事業
- (7) 協議会等活動支援事業（青少年教育関係団体）
- (8) 市民活動相談事業（プロジェクトマネージャー）
- (9) 北千葉道路整備事業



### 地方創生推進交付金を活用した事業

#### ○「ふるさと名物商品推進事業」

昨年度に引き続き、市内の農業団体（ふるさと梨の会）や商工会、日本ハムファイターズと連携し、市の特産物である梨のインターネットによる販売を実施するとともに、羽田空港によるPRイベントや、北海道及び沖縄県において、梨及び市のふるさと商品の販売を促進し、これらの知名度向上や販路拡大を図り、農家の後継者不足の解消を目指していきます。



### ○平成31年度以降の取り組み

平成27年度に策定した「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成31年度で5年目を迎え、計画の最終年度となります。そのため、平成31年度は、5年間で実施してきた各事業の進捗状況の総点検を行ったうえで、平成32年度以降の次期「総合戦略」の策定に取り組んでいきます。

### 6 今年度のスケジュールについて

日時	概要
8月28日(火)	政策調整会議に付議
9月3日(月)	連絡会議に付議
9月中旬	市長決裁
9月中旬から10月上旬	各委員へ資料を送付、意見受付
10月中	委員会の意見を集約し、次年度以降の取組みに活かせるよう庁内へ通知